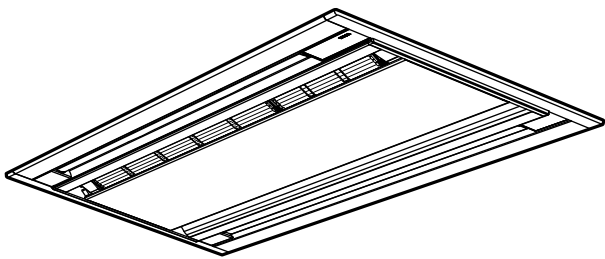


天井パネル  
〈天井カセット形 2 方向吹出しタイプ〉  
取付説明書

形名  
RBC-UW283PG(W)  
RBC-UW803PG(W)  
RBC-UW1403PG(W)



このたびは東芝パッケージエアコン用「天井パネル」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。取付の前にこの説明書をよく読み、正しい取付を行ってください。

もくじ

安全上のご注意	2
天井パネル取付前の準備	3
室内ユニットへの取り付けかた	4
その他	7

付属部品

部 品 名	個 数	形 状	用 途
取付説明書	1		本説明書 (お客様に必ず渡してください)
取付ねじ	RBC-UW283PG 4 RBC-UW803PG RBC-UW1403PG 6		M5×40L 天井パネル取付用

※取付ねじは梱包用の発泡スチロールにテープ止めしています。

◇お客様への引き渡し

- 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認し、室内ユニットの取扱説明書にそってお客様に使用方法・お手入れの仕方を説明してください。また、この取付説明書は室内ユニットの取扱説明書および据付説明書とともに、お客様で保管いただくように依頼してください。

# 安全上のご注意

- お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための安全に関する重大な内容を記載しています。つぎの内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

## 表示の説明



### 警告

“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊１）を負うことが想定される内容”を示します。



### 注意

“取り扱いを誤った場合、使用者が傷害（＊２）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊３）の発生が想定される内容”を示します。

- \*１：重傷とは、失明やけが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
- \*２：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。
- \*３：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

## 図記号の説明



### 禁止

⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。



### 指示

●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。



### 注意

△は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

## 警告

- 据付は、販売店または専門業者に依頼する  
ご自分で据付工事を行うと、水漏れや感電・火災の原因になります。
- 据付工事は、この据付説明書に従って確実にを行う  
据付に不備があると、水漏れや感電・火災の原因になります。
- 据付は、重量に十分耐える所に確実にを行う  
強度が不足している場合は、ユニットの落下により、けがの原因になります。
- 電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」・「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する  
電源回路容量不足や施工不備があると感電・火災の原因になります。
- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する  
接続や固定が不完全な場合は、火災などの原因になります。
- アースを必ず接続する  
アース線はガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。  
アースが不完全な場合は、感電の原因になります。



- 改造・修理は絶対にしない  
改造したり、修理に不備があると感電・火災の原因になります。



## 注意

- 据付作業のときは手袋（※）を着用する  
着用しないと部品などにより、けがをする原因になります。（※軍手などの厚手の手袋）



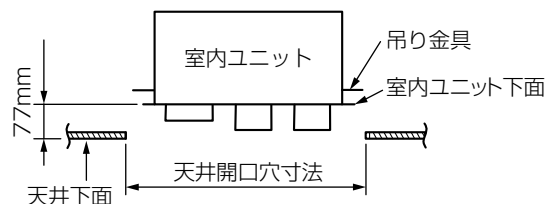
# 天井パネル取付前の準備

## 室内ユニット位置の確認

1. 天井開口穴が右表の寸法であるか確認します。
2. 天井下面と室内ユニット下面の位置が図 1 のようになっているか確認します。位置が合わないと風漏れや水漏れおよびフラップの動作不良などの原因となります。
- 天井パネルには、輸送保護用のクッションやフラップの固定用ビニタイが取り付けられていますので、必ずはずしてください。
- 天井パネルを下向きに置くことや、立て掛け、突起物の上への放置は表面に傷が付きますので絶対にしないでください。また、仮掛け金具が両サイド裏面に付いています。変形させないように取り扱いに注意してください。

形 名	天井開口穴寸法
RBC-UW283PG	1000 <sup>+10</sup> <sub>0</sub> mm×620mm
RBC-UW803PG	1365 <sup>+10</sup> <sub>0</sub> mm×620mm
RBC-UW1403PG	1785 <sup>+10</sup> <sub>0</sub> mm×620mm

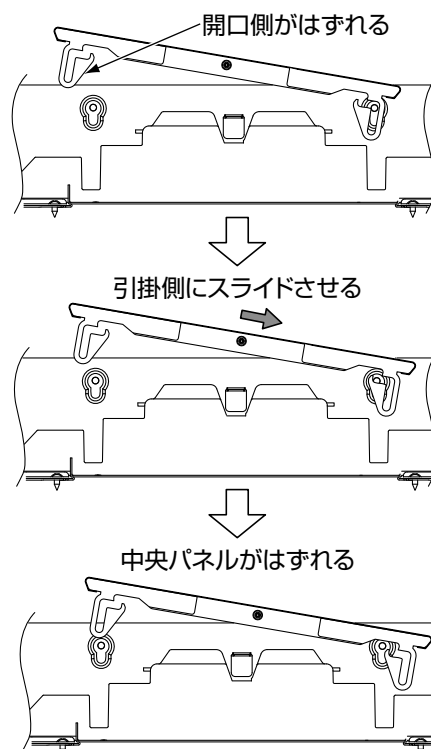
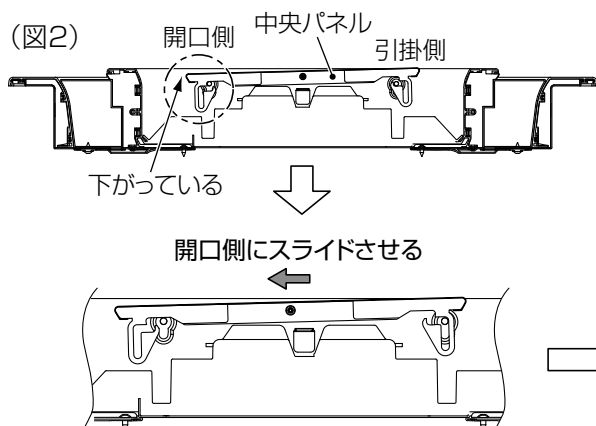
室内ユニット下面から天井下面までの寸法は室内ユニットに付属の据付ゲージを使用し、必ず 77mm に調整してください。この寸法が守られない場合、結露やパネルの変形など故障の原因になります。



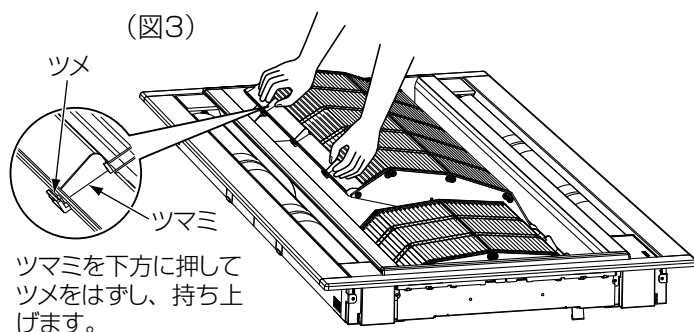
(図1)

## 中央パネルの取りはずし

1. 水平に置いた状態で中央パネルが下がっているほうが開口側、下がっていないほうが引掛側です。(開口側・引掛側の見分けが難しい場合は、中央パネルの縁を押してください。より下がるほうが開口側です。)
2. 中央パネルを図 2 のようにスライドさせて取りはずします。



3. エアフィルターはツメで固定されています。図 3 のツマミを下方に押し、ツメをはずして持ち上げ、エアフィルターをはずします。



# 室内ユニットへの取り付けかた

## 天井パネルの取付

1. 天井パネルの仮掛けフックを、室内ユニット両サイドの受け部に引っ掛けます。(図 4)

引っ掛けるときは、天井パネルのフラップモータ配線側を室内ユニットの電気部品箱側にします。

(図 5)

2. 天井パネルを斜めにして片方の仮掛けフックを室内ユニットの受け部に引っ掛け、もう一方を水平に持ち上げて引っ掛けます。

3. 天井パネル両側の仮掛けフックが、室内ユニットに確実に掛かっていることを確認してから手を放してください。

- 取りはずす場合はフレームカバーをはずし、天井パネルを手で持ち上げ、仮掛けフックのツマミを図 4 の矢印の方向に押しながら、ゆっくり下げてください。(フレームカバーのはずしかたは、次項「本体高さの微調整」をご覧ください。)

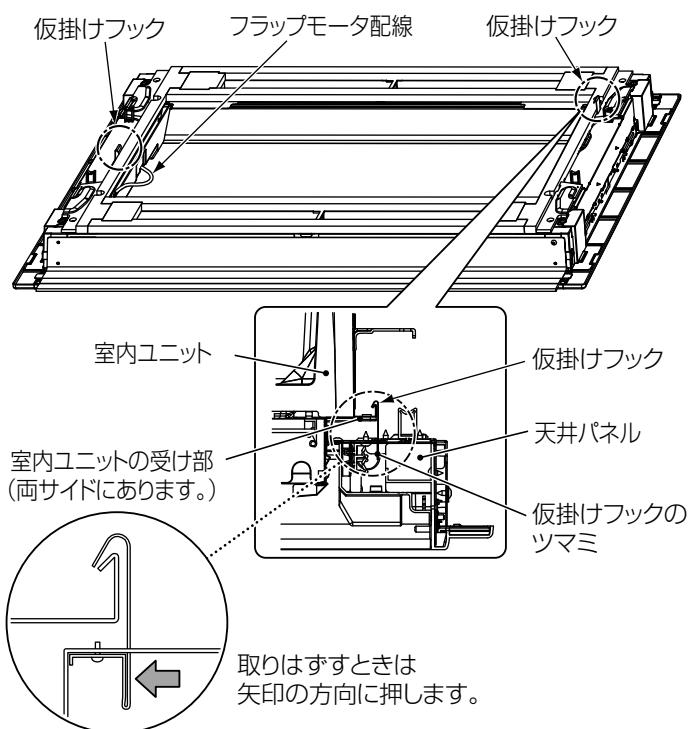
4. 天井パネルの取付穴と室内ユニットのねじ穴が合っていることを確認し、付属の取付ねじ(M5×40 L; 28 形・80 形は 4 本、140 形は 6 本) で室内ユニットに密着するまで締め付けます。(図 5)

- 取付ねじは配線の挟み込みがないことを確認して締めてください。

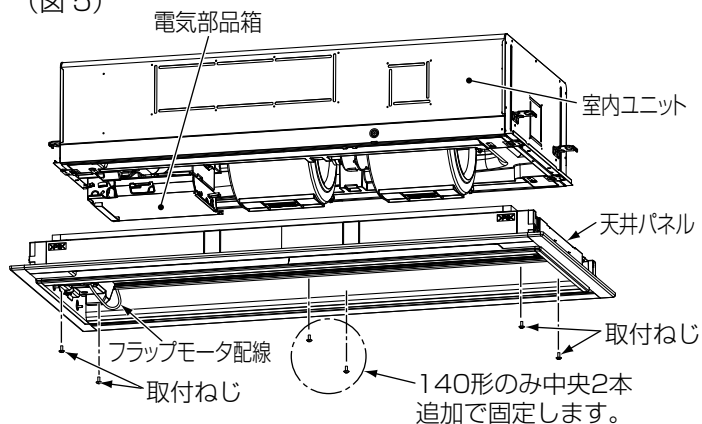
- 取付ねじは梱包用の発泡スチロールにテープ止めしています。

5. 室内ユニットと天井パネル、および天井パネルと天井下面との間に隙間がないことを確認してください。(図 6)

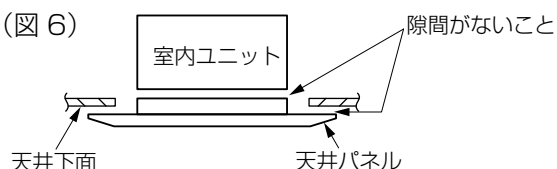
(図 4)



(図 5)

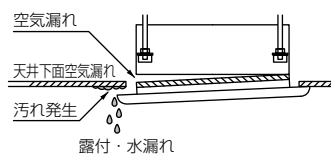


(図 6)

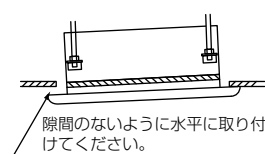


## ご 注 意

- ねじの締め付けが不十分な場合、下図のような不具合発生の原因となりますので確実に締め付けてください。



- ねじを締め付けても天井下面と天井パネルとの間に隙間ができる場合は室内ユニットの高さを再調整してください。



## 本体高さの微調整

天井パネルと天井下面との間に隙間が生じた場合、ドレン配管などに影響が出ない程度であれば、天井パネルを取り付けたまま、次の方法で微調整が可能です。

(1) フレームカバーのねじ（1本）をはずして、ツメを内側に押しながら取りはずします。（図7）

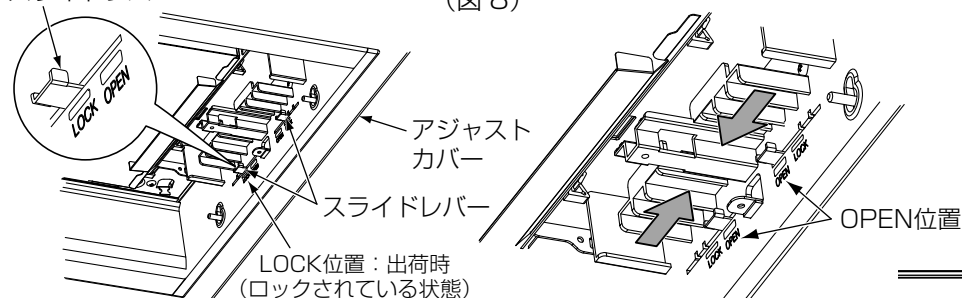
(2) アジャストカバーを固定しているねじ（2本；△マークが目印）を取りはずします。（図9）

(3) スライドレバー（2カ所）を内側に動かして、OPEN位置に移動します。

● スライドレバーは押しながら動かしてください。

スライドレバー

（図8）



(4) アジャストカバーが落下しないように手で押さえながら図9の矢印の方向にスライドさせて取りはずします。（図9）

(5) アジャストカバーを取りはずした開口部より室内ユニットの吊り高さを調整します。

(6) 室内ユニットと天井パネルを固定している取付ねじ（2本）を緩めて、天井パネルを10mm程下げます。（図9）

● 取付ねじを緩めないと、アジャストカバーが固定できません。

(7) アジャストカバーを取り付けます。（図10）

・ 図10のように手を掛けて内枠を上げながら、アジャストカバーの出っ張り部を親指で押し込みます（①）。

その際、アジャストカバーのツメを必ず、内枠・外枠に挿入してください。

・ 片方ずつねじ穴部（△マークが目印）が合うまで②部を矢印方向に引っ張り（②）、スライドレバーをLOCK位置に移動します。

（スライドレバーは押しながら動かしてください。）

・ (2) ではずしたねじ（2本）で固定します。

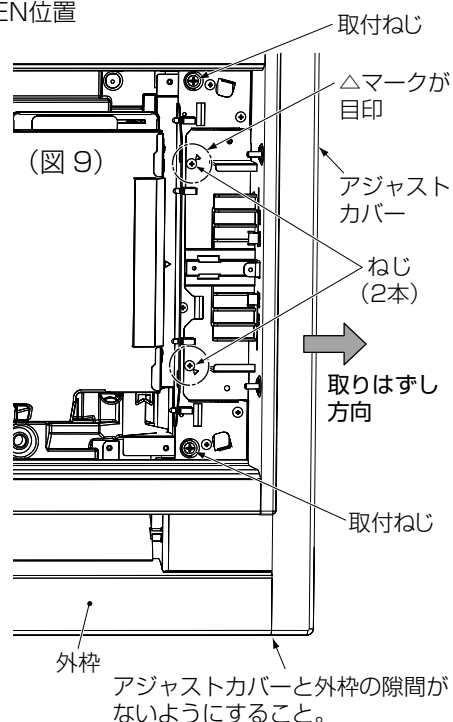
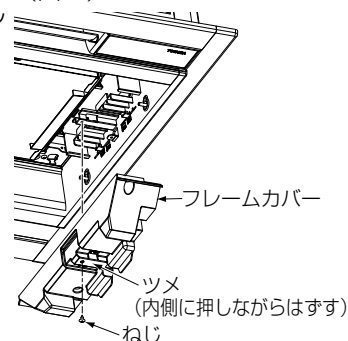
● アジャストカバーを取り付けるときは、必ず外枠との合わせ部に隙間がなくなる位置まではめ込んでください。

(8) (6) で緩めた取付ねじ（2本）を元通りに締めます。フレームカバーのツメをはめ込み、(1) ではずしたねじ（1本）を用いて固定します。

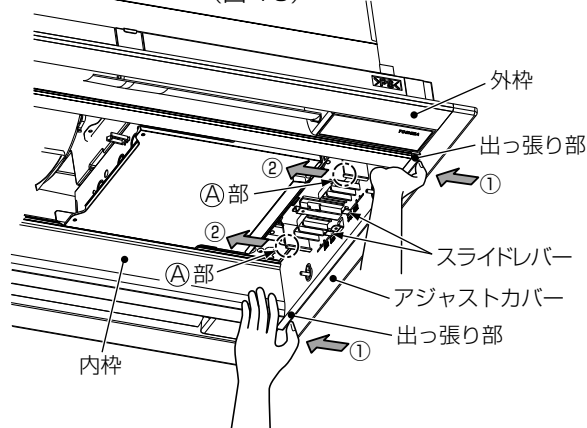
● アジャストカバー・フレームカバーの取付は元通りに行ってください。不完全な場合、露付きの原因になるおそれがあります。

● アジャストカバー・フレームカバーを取り付けるときは、フラップモータ配線を挟み込まないよう注意してください。

（図7）



（図10）



## 室内ユニットへの取り付けかた (つづき)

### 天井パネルの配線方法

1. ねじ (2 本) を取りはずし、電気部品箱カバーを図 11 の矢印の方向へスライドさせて開きます。  
電気部品箱カバーは図 12-1、12-2 のように、ヒンジに引っ掛けた状態になります。

2. 配線は取り付ける室内ユニットによって異なります。

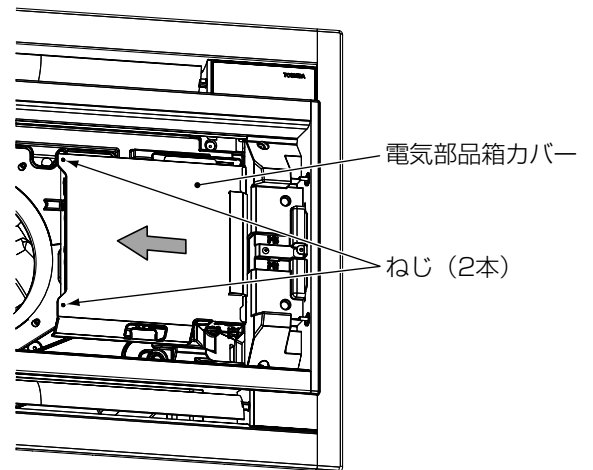
#### (AP\*\*\* WH, RP\*\* 2WH の場合)

天井パネルから出ているフラップモータ配線のコネクタを PC 板上の CN33 : 白 (コネクタ 5P) に接続し、図 12-1 のように電気部品箱側面のコードクランプで固定してください。

#### (上記を除く RP\*\*\* WH, UP\*\*\* WH の場合)

天井パネルから出ているフラップモータ配線のコネクタを PC 板上の中継コネクタ : 白 (5P) に接続し、図 12-2 のように電気部品箱内と側面のコードクランプで固定してください。

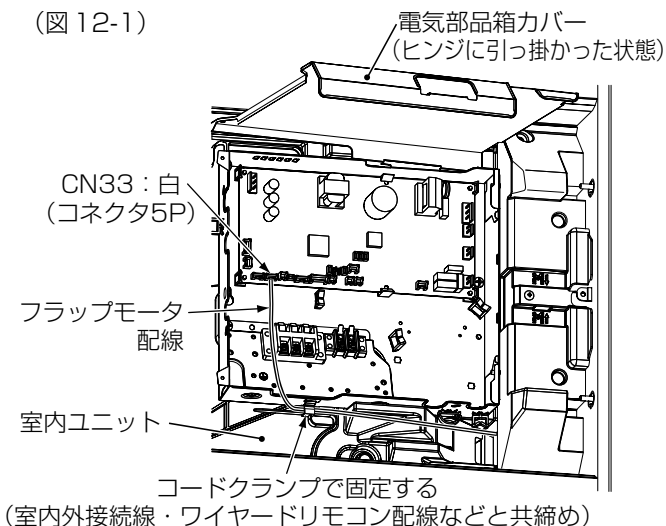
(図 11)



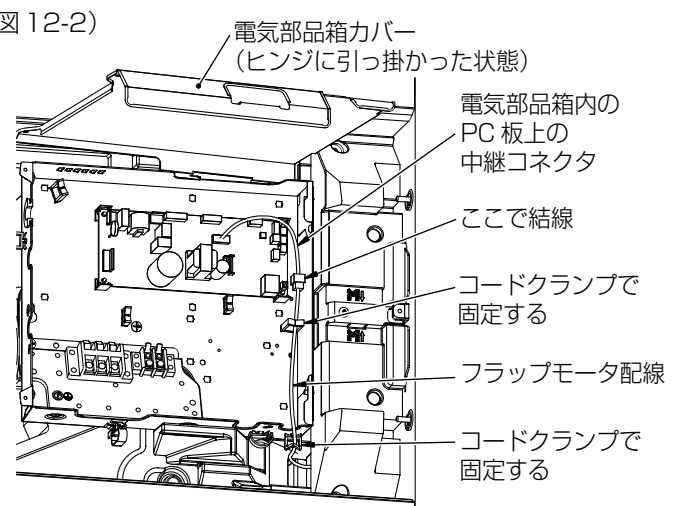
3. 元通りに電気部品箱カバーを取り付けてください。

- コネクタを接続しないと、フラップが動作しないので、確実に接続してください。
- 配線が電気部品箱とカバーの間に挟み込まれていないことを確認してください。
- 配線が室内ユニットと天井パネルの間に挟み込まれていないことを確認してください。

(図 12-1)



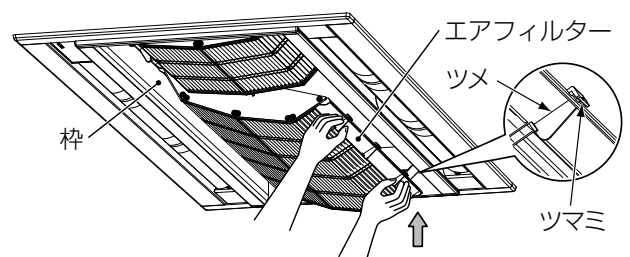
(図 12-2)



### 中央パネルの取り付け

1. エアフィルターを取り付けます。  
エアフィルターは内枠にツメを引っ掛けて取り付けます。  
(図 13)  
● エアフィルター装着後、一度両側のツマミを下方に引っ張り、はずれないことを確認してください。

(図 13)



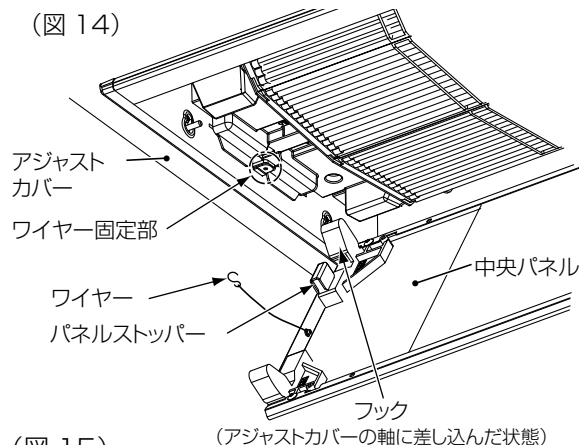
## 中央パネルの取り付け (つづき)

2. 図 14 のように、中央パネルのフックをアジャストカバーの軸に差し込みます。(左右 2 か所)

差し込むのはパネルストッパーのあるほうのフックです。

●パネルストッパーのないほうを先に付けると中央パネルは取り付けられませんので、注意してください。

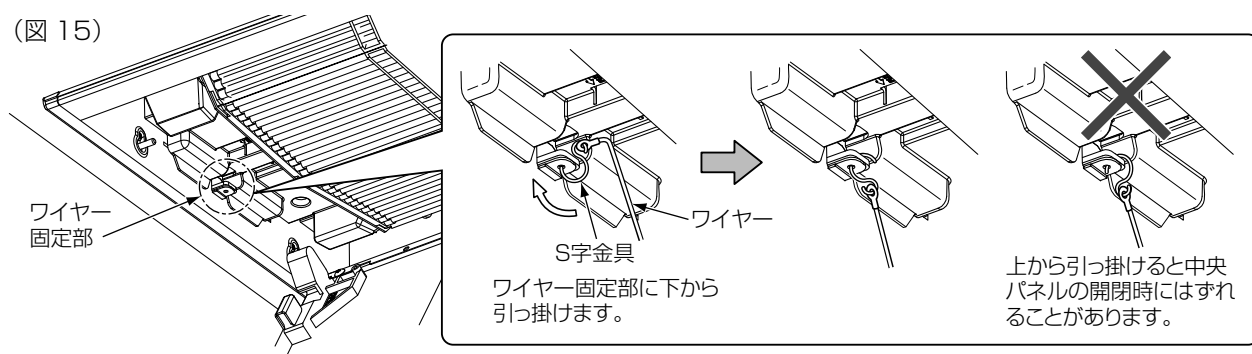
(図 14)



3. ワイヤーの S 字金具をワイヤー固定部に下から引っ掛けます。(図 15)

●上から引っ掛けると中央パネルの開閉時にはずれることがあります。

(図 15)

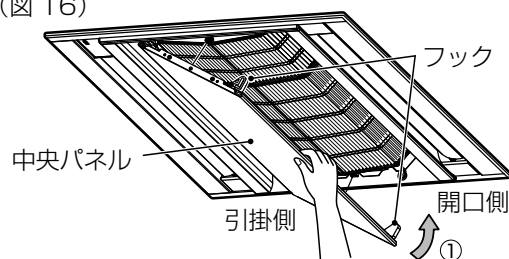


●ワイヤーは中央パネルの落下防止用のものです。

必ずワイヤー固定部に取り付けてください。

4. 中央パネルをゆっくり①上方に回転させて閉じます。(図 16)

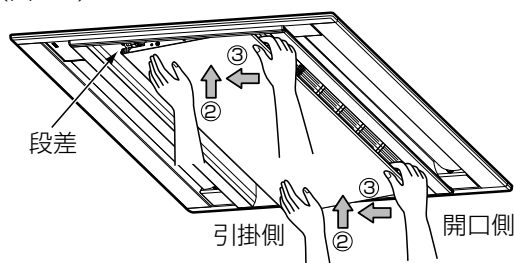
(図 16)



5. 中央パネルの開口側を閉じた状態で、②引掛側の段差を持ち上げながら、③引掛側にスライドさせて固定します。(図 17)

※中央パネルは両端のフックに近い位置を持ち、片方ずつ固定してください。

(図 17)



## その他

### 据付後の確認

●室内ユニットと天井パネル、および天井パネルと天井下面に隙間のないことを再確認します。

※隙間があると水漏れや露付の原因となります。

●配線が確実に接続されていることを確認します。

※接続されてないとフラップが動作しない原因となります。

# 東芝キャリア株式会社

〒416-8521 静岡県富士市蓼原 336 番地